

白熱の取組

大相撲 7/9

「琴」「恵」「光」のうちわ持つて

両親、姉、感動しながら応援

大相撲東頭14枚目の幕内力士として初めての本場所を迎えた琴恵光を、父正倫さん(33)と母多美さん(54)そして姉の朋美さん(28)が客席から見守った。両親は延岡から朝一番の飛行機で、朋美さんは東京から夜行バスに乗って名古屋、ルフィンスアリーナへ駆け付けた。

前日まで雨だったのがそのように、名古屋市内は快晴。早朝から当日券を求めて相撲ファンが並び、会場には満員御礼の懸垂幕が下がった。
両親は事前にチケットを手配していたが、朋美さんは整理券を手に入れるために朝の5時半に並んだ。並ぶ人たちが定員に達したら

と待ちわびた幕内力士の土俵入り。琴恵光は東方の3人目に入場した。会場のあちこちから聞こえる琴恵光への声援を背、正倫さんらは「恵」「光」と書いたレシムのうちわを手に土俵入りを見守った。
姉の朋美さんは緊張しているだろうけど、うれしい。鳥肌が立つた回りのスクリーン



初めて幕内の土俵で塩をまく新入幕の琴恵光(8日、ドルフィンズアリーナ)



初日の応援に駆け付けた琴恵光の両親と姉の朋美さん



取組を終えた琴恵光(右)をねぎらう両親と姉の朋美さん

2018. 7. 9